

# カリキュラム

機構施設名：秋田職業能力開発促進センター

実施機関名：株式会社パワートレイン

バックオフィス	システム導入	ITツールを活用した業務改善
---------	--------	----------------

コースのねらい	業務の省力化や効率化を目指して、ITツールを活用することで業務改善を実現するために、ITツールの特徴と種類を理解し、自社業務に適切なITツールを選定するための知識を習得する。
---------	---

講義内容	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間 (H)
	1	ITツールの種類と活用	(1)DXとは何か 昨今の経営課題として取り上げられているDX(デジタル・トランスフォーメーション)について、その概念について解説します。自社にとってのDXを考えるキッカケとして考えて頂きます。	1.0
			(2)業務改善の基本 業務改善の基本となるOIPの考え方と業務改善のステップについて解説します。その上で、自社でITツールを導入する際の手順(問題発見、あるべき姿の設定、現状とのGAP把握、解決策の検討、ツールの検討、テスト導入、本格導入、ユーザートレーニング)を解説します。	1.5
			(3)ITツールを活用した業務改善事例 ITツールを活用して業務改善を行っている事例を紹介し、特に中小企業での活用事例を中心に解説します。 ポイントは、少ない投資、適用スピード、小さな成功体験の積み重ね、の3点であることをお伝えします。	1.0
			(4)ITツールのトレンドとその種類 企業活動の様々なシーンでITが活用されています。ここでは、ITツールのトレンドとどのような種類があり、どのような現場(シーン)で活用されているのかをツールの側面から解説します。 クラウド、IoT、RPA、VRやARなどのメタバース、業務アプリ、AI等の最新ツールも合わせて紹介します。	1.0
2	ITツールの業務適用	(1)自社のありたい姿(ビジョン)を創造する【演習あり】 3年後の自社のありたい姿(ビジョン)を参加者全員で創造します。ビジョンから逆算して、3ヶ月から1年の間に実現したい目標を設定し、目標を達成するための方法(戦略)を考えます。	1.0	
		(2)ITツールの業務適用範囲の検討【演習あり】 ビジョンに照らし、自社のどの業務をIT化すべきかについて、演習を交えて検討を行います。コミュニケーションの改善、情報の一元管理、ルーチンワークの削減など、自社の課題と照らし合わせて検討します。導入する場合のステップについて、特にスモールスタート・クイックウィンの考え方を解説します。	0.5	
			合計時間	6.0